

予 算 要 求 資 料

令和5年度12月補正予算 支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：医療整備対策費

事業名 医療機関エネルギーコスト削減推進補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療企画係 電話番号：058-272-1111(内2534)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 160,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	160,000	0	0	0	0	0	0	0	160,000
決定額	120,000	120,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

このところの物価高騰は、医療機関の自助努力の範囲を超えて、その経営を圧迫している。医療機関の収入は、主に公定価格である診療報酬であり、物価高騰による負担増を他に転嫁することができない。県民の生命・健康を守る医療機関を速やかに支援するとともに、将来にわたって持続可能な経営基盤を構築できるよう、エネルギーコストを削減するための設備の更新等を支援する。

(2) 事業内容

【支援対象事業者】

県内病院及び有床診療所

【対象設備】

空調・換気設備、照明設備、冷蔵・冷凍設備、恒温設備、熱電供給設備、窓
※省エネ設備であり、省エネ性能に関する基準を満たすもの

【補助額】

1 医療機関あたり、病院は上限300万円、有床診療所は上限30万円

(3) 県負担・補助率の考え方

県補助率 2 / 3

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	160,000	エネルギーコストを削減するための設備の更新に対する補助
合計	160,000	

決定額の考え方

補助率は1 / 2とし、所要額を計上します。
財源については、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

令和4年度における新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の取扱い及びコロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」について（令和4年6月7日付け厚生労働省通知）

(2) 国・他県の状況

長野県で類似の事業を実施

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

医療機関の経営が立ちいかなければ、県民への医療提供体制に支障が出かねないことから、県が支援を行うことは妥当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	医療機関エネルギーコスト削減推進補助金
補助事業者(団体)	病院、有床診療所 (理由) 入院患者に対する24時間対応が必要な医療機関
補助事業の概要	(目的) 施設の運営費負担を軽減 (内容) 設備の更新等の補助
補助率・補助単価等	定率(上限あり) (内容) 設備更新等の2/3 (理由) 燃料費高騰による影響を軽減する設備導入を、県と事業者で負担するため
補助効果	持続可能な施設運営
終期の設定	終期 令和5年度 (理由) 令和5年度における燃料費等高騰対策であるため

(事業目標)

- ・終期までに何をどのような状態にしたいのか
事業者がエネルギーコストを削減して持続可能な運営を行うこと

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度
			79,788

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	省エネ性能に関する基準を満たす設備へ更新をした44施設に補助した。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 2	昨年度は44施設の利用にとどまった。 事前に計画をしていた事業者以外は対応が困難である。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価) 2	県ホームページ及び関係団体への案内により周知を図った。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	特に問題はない。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 医療機関が適切に支援を受けられるよう、事業の周知を図る。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 燃料高騰等の動向を踏まえ、状況に応じて必要とする事業を検討する。
--